



Eigo Chat Lab!
オンライン英会話

ああっ！
そんなの習った！

ビジネス英語で

始める

特典動画付き

「やり直し英文法」

15フレーズ

英語から長く遠ざかっていた
社会人のためのはじめの一步

阿部 毅

はじめに

『ビジネス英語で始める「やり直し英文法」15フレーズ』

この本は、長く英語に触れていなかった社会人が、昔、習った英文法を思い出し再び英語に興味をもってもらうために書きました。

そのため、この本を読んでも英文法の全体像を網羅的につかむことはできません。あくまでも負荷なく通勤電車のなかでも「さらっと」読める、それでいて「ああ、こんな文法を昔、学校で習った」と思い出せるような内容になっています。

この本を読んだあとに、さらに文法に興味湧いたならもっと詳しい英文法の解説書は巷にあふれかえっているので、是非、そちらにあたってください。

普段、私は自分の経営する英語塾で中高生に英語を教えることが多いです。しかし、50歳の節目を迎えたこともあります。日本のワークフォースたる20代～50代の現役世代で英語の習得に苦労している人が相変わらず多いのが最近気になっています。

というのも、英語塾では社会人クラスもありますが、やはり「会社でTOEICなどの資格が必要です」というご相談が後を絶たないからです。そうした事情を鑑み、英語塾とは別に経営するオンライン英会話を最近になって社会人の「やり直し英語」に特化しました。

一昔前に比べれば、英語ができる日本人は増えたように思えます。しかし、それはYouTubeなどの個人が発信できる動画メディアの隆盛によって「英語ができる日本人」が目立つようになっただけではないか、とも思えるのです。

いずれにしても、私の関心が中学生、高校生、大学生だけでなく、社会人にも英文法を中心とした英語の基礎教育をする必要性があるのではないかと、いうところまで広がってきています。

本書を通じて、「英文法などとっくの昔に忘れてしまった」という社会人の方が少しでも英語の基礎に目を向けるきっかけになれば幸いです。

2022年9月
著者

目次

1	It's nice to meet you. (it-to 構文)	4
2	Let me introduce myself. (使役動詞)	5
3	I'm excited to work with you. (不定詞)	6
4	How have you been? (現在完了)	7
5	It's great weather today, isn't it? (付加疑問文)	8
6	That sounds amazing. (五感の動詞)	9
7	Could you tell me where the conference room is? (間接疑問文)	10
8	I'm sorry, but I have to go. (接続詞)	11
9	I'm leaving for today. (近い未来を表す進行形)	12
10	Would you mind helping me with this editing work? (mind の語法)	13
11	Thank you for your time. (理由を導く for)	14
12	I need you to explain more in detail. (need の語法)	15
13	The meeting is over. (第二文型)	16
14	We have employees who love challenging work. (関係代名詞)	17
15	It is different from what we expected.(関係代名詞の What)	18

特典動画の URL

こちらの電子書籍には特典動画がつきます。

以下のリンクまたは QR コードよりご視聴ください。

[ビジネス英語で始める「やり直し英文法」15フレーズ特典動画 - YouTube](#)



1

It's nice to meet you.

「お会いできて嬉しいです」

誰もが知っている「お会いできて嬉しいです」という意味の定番表現。

でも、これを文法的視点から見ると、**it-to 構文**という中学生や高校生で習った懐かしい響きをもつものに変わるでしょう。

覚えていますか？

文法ポイント

it=仮主語 to 不定詞=主語

仮主語の it で「それ」と出しておいて、「それって嬉しい=It's nice」を表現。

後から、「それ」の内容を to 不定詞が表現している形式の文を通称「**it-to 構文**」と呼んでいます。

～同じ文法を含む例文～

It's a pleasure to see you.

「お会いできて嬉しかったです」

It's a little difficult for us to accept your offer.

「我々にとってあなた方の提案はやや受け入れがたいものです」

It's impossible to get the job done in a day.

「その仕事を1日で終わらせるのは無理です」

2

Let me introduce myself.

「自己紹介させてください」

Let は**使役動詞**と呼ばれるもののひとつです。使役動詞には他にも **make** や **have** などがあります。使役とは他の人に「～をさせる」という意味。

文法ポイント

let+人+動詞の原形(やりたがっていること)

使役動詞としての **make, have, let** の代表的な使い方に、**使役動詞 (make/have/let) + 目的語+動詞の原形**というものがあります。なかでも **let** は、目的語の「人」がやりたいことを「許可」する意味。Let～から始まる文は命令文なので「～させてくれ」という意味が生まれるのです。

～同じ文法を含む例文～

Let me help you.

「手伝いましょう」

My boss let me do this job all by myself.

「上司がこの仕事を私一人に全部やらせてくれた」

Let me explain why the delivery is late.

「なぜ配送が遅れているの説明させてください」

3

I'm excited to work with you.

「一緒に仕事ができ楽しかったっです」

中学や高校で習った**不定詞**を覚えていますか？

「あれは苦手だった」という方も多いかもしれませんね。

文法ポイント

to+動詞の原形(感情の原因)

不定詞の中でも特に「副詞的用法」は細分化されて、意味の取り方も複雑になります。例文で取り上げたものは、その副詞的用法の「**感情の原因**」と呼ばれるものです。

「感情の原因」という名称は、主節で表現された何らかの感情がなぜ起こったのかの説明が不定詞以下に表現されていることに由来しています。

例文でいえば、楽しかった (excited) という感情は、あなたと一緒に働いたこと (to work with you) が原因だったということです。

～同じ文法を含む例文～

Our client is really worried to hear the results of the survey.

「我々の顧客がその調査結果を聞いてすごく心配しています」

He will be relieved to know you will be in time for the meeting.

「あなたが会議に間に合うと知って彼は安心するでしょう」

4

How have you been?

「お元気でしたか？」

この例文にある **have+過去分詞** は「**現在完了**」と言われるものです。
現在完了と過去形を混同してしまう人が多くいますが、この二つは明確に異なります。

文法ポイント

have+過去分詞(継続用法)

現在完了は大きく三つの意味に分かれます。それが「経験」「継続」「完了」です。

どの用法も過去～現在までの時間を「現在」の視点から語ります。それに対して過去形は過去のある時点のことしか表しません。言葉だけでは少し分かりづらいですね。

この例文では、過去のある時点～現在までの期間を「いかがでしたか？」と再会した時に尋ねているのです。

～同じ文法を含む例文～

Our company has launched a new product recently.

「うちの会社は最近になって新製品を発売しました」

I have been working for this company for five years.

「私はこの会社で働き始めて5年になります」

5

It's great weather today, isn't it?

「今日は良い天気ですね？」

文末のカンマ以下の部分を**付加疑問文**と呼びます。

普通の文を続けたあとに、「～ですね？」と相手に軽く確認するような話法です。

文法ポイント

,isn't it?

付加疑問文のパターンというのは無数にあります。前の文が肯定文なら付加疑問文は否定文で表し、前の文が否定文であれば、付加疑問文は肯定文で表します。

また、前の文が be 動詞なら付加疑問文も be 動詞で、一般動詞なら一般動詞で、助動詞があれば助動詞でと前の文をそのままひっくり返していく感覚が付加疑問文です。

下の例文で確認してくださいね。

～同じ文法を含む例文～

Today isn't the deadline, is it?

「今日が締め切りじゃないよね？」

She flew to Kyoto yesterday, didn't she?

「彼女は昨日、飛行機で京都に行ったよね？」

You can come to the party tonight, can't you?

「君は今夜のパーティー来れるよね？」

6

That sounds amazing.

「それはすごいですね」

例文の sound は「～に聞こえる」という意味の**五感の動詞**です。

人間の五感を表現する動詞は、日常生活では例文のような第二文型で使われることが多いです。

文法ポイント

S sounds C (S が C に聞こえる)

五感の動詞とは人間の五感、つまり「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」を表す動詞。中学や高校で使役動詞とともに習った知覚動詞と意味的に重なります。しかし、知覚動詞は I heard her sing on the stage. (彼女が舞台上で歌うのを聞いた) と普通は第五文型。

しかしながら、五感の動詞はむしろ下に示すように第二文型で頻繁に使われます。

～同じ文法を含む例文～

Your presentation materials look good.

「あなたのプレゼン資料よさそうだね」

The new fabric made in your lab feels very smooth.

「あなたの研究所で作られた新しい生地は手触りが本当になめらかだね」

This soup tastes really good.

「このスープ本当に美味しいですね」

7

Could you tell me where the conference room is?

「会議室がどこか教えていただけますか？」

これはいわゆる**間接疑問文**と呼ばれるものです。目的語の位置に疑問詞で始まる節が入る文を指します。例文では **where** で始まる意味の塊がそれに当たります。

文法ポイント

S V 疑問詞 S' V'

間接疑問文は普通は高校生で習う文法单元ですが、語順のミスが目立ちます。上記の例文も「会議室はどこにあると思いますか」という疑問文に変えると語順に大きな変化が生じて、**Where do you think the conference room is?**となります。

～同じ文法を含む例文～

Could you show me how to use this copy machine?

「このコピー機の使い方を教えていただけますか？」

Please let me know when and where you found this problem.

「この問題にいつどこで気付いたのか教えてください」

How do you know my phone number?

「どうやって私の電話番号を知ったのですか？」

8

I'm sorry, but I have to go.

「すいませんが、行かなければなりません」

ここでは、but とう**接続詞**の使い方に注目してください。「しかし」という意味で習いましたが、ここではちょっと言いづらいことや本題の導入になる目印のような機能です。ビジネス以外でも使える定番の言い回しです。

文法ポイント

I'm sorry, but+言いづらいこと or 本題

これは、後に言いたいことがあるのですが、その前置きとして I'm sorry を先に言って表現全体をやわらげているのです。他にも、Excuse me, but～など似たような便利な言い回しがあります。

～同じ文法を含む例文～

I'm sorry, but I'm in a hurry.

「すいませんが、急いでいます」

I'm sorry, but could you speak a bit more slowly, please?

「すいませんが、もう少しゆっくり話してもらえますか？」

Excuse me, but do you know where the station is?

「すいません、駅の場所を知っていますか？」

9

I'm leaving for today.

「今日はもう帰ります」

これは**近い未来を表す現在進行形**の例です。日常会話では頻出です。現在進行形というと「今~しているところ」が基本の意味ですが、例文のような使い方はすでに~する予定がある場合やすぐにでもその状態に移行するような状況で使います。

文法ポイント

be 動詞+~ing(近い未来を表す)

未来というと真っ先に助動詞の will を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、しかし、will のコアな意味は「意思」です。例えば、I will solve this matter by next Monday.は「私はこの件を次の月曜までに解決します」という意気込みの表現となります。

~同じ文法を含む例文~

I'm coming there. Please wait for just a second.

「今、そちらに向かっています。少し待ってください」

We are introducing a new line of smartphone next year.

「私たちはスマホの新しいシリーズを来年発表する予定です」

I'm sorry to hear that you are leaving Japan next month.

「あなたが来月、日本を去る予定だと聞いて残念です」

10

Would you mind helping me with this editing work?

「この編集作業を手伝っていただけませんか？」

例文の **mind** はビジネスでも日常会話でも定番の表現です。学校では高校生で習い、目的語に動名詞しかとらない単語としてよく出題されます。

文法ポイント

mind+~ing

mind を使った疑問文では受け答えには注意が必要です。**mind** は動詞では「~を気にする」という意味になります。つまり、疑問文では「~は嫌ですか」というのが直訳的な解釈。それに対して Yes と言ってしまうと、「気になるので嫌だ」となるので注意。

~同じ文法を含む例文~

Would you mind going there by taxi instead of by train? – I don't mind.

「電車の代わりにタクシーでそこに行くのはどうですか?」「いいですよ」

Would you mind me sitting here?

「私がここに座ってもいいですか?」

I suppose they don't mind letting us in even if we arrive early.

「早く到着しても僕らを中にいれてくれると思うよ」

11

Thank you for your time.

「お時間いただきありがとうございます」

例文の前置詞 **for** の使い方は理由を導く用法になります。感謝の理由や謝罪の理由など、多くのケースで使えます。

文法ポイント

for+(理由)

理由というと **because** がまず思いつくかもしれませんが。しかし、感謝や謝罪の言葉を述べるのに、例えば **I'm sorry for being late.**「遅刻してすいません」を **I'm sorry because I'm late.** となるとなんだかまどろっこしいですね。英語表現にも TPO があります。

～同じ文法を含む例文～

Thank you for helping us.

「お手伝いいただきありがとうございます」

We are so sorry for your loss of family.

「ここからお悔やみ申し上げます」

The e-mail was not delivered to me for some reason.

「その e メールは何らかの理由で私に届きませんでした」

12

I need you to explain more in detail.

「あなたにはもっと詳しく説明してもらいたい必要がある」

例文の **need** のような用法を始めて習うのは中学 3 年です。 **want/tell/ask+人+to do** で「～に～してほしい」「～に～するように言う」「～に～するよう頼む」と習いますが、このパターンを取る動詞は英語で無数に存在します。

文法ポイント

need+人+to do

使える英語をマスターする近道は文法のパターンを覚えて、文中の単語を入れ替えて自分のオリジナルの英文を作っていくことです。例えば、上の例文を **I want you to explain more clearly.** とすれば「あなたにはもっとはっきり説明してもらいたい」となります。

～同じ文法を含む例文～

I'll ask her to buy three more tickets for us.

「彼女にもう3枚チケットを私たち用に買うよう頼んでおきます」

I told them not to be late again.

「彼らにはもう遅刻しないように言っておきました」

I want them to answer my e-mail as early as possible.

「彼らにはできるだけ早く私のメールに返信してほしい」

13

The meeting is over.

「会議は終わりました」

これはいわゆる **SVC** の **第二文型** と呼ばれるものです。シンプルな構造なので英会話初心者の方はなんでも第二文型で言おうとしてしまうので注意が必要です。

文法ポイント

S+V+C

S=C の形で「**SはCです**」という意味を作ります。日本語は「～は～です」という言い回しでかなりいろいろなことを表現できますが、英語では第二文型で表現できることはそれ程多くないと覚えておいてください。

また、**第二文型**をつくる動詞の代表が **be 動詞** です。主語と動詞の後にくる補語をまさにイコールで結んでいるのが **be 動詞** となります。

～同じ文法を含む例文～

That workshop was really informative for new employees.

「あの研修は新入社員には本当に有益でした」

Ms. Lee is your new contact .

「リーさんがあなたの新しい担当者だ」

She is away from office now.

「彼女は外出中です」

14

We have employees who love challenging work.

「やりがいのある仕事が好きで社員がいます」

例文に使われている **who** は**関係代名詞**です。関係代名詞は苦手だったという人が少なからずいますが、会話ではそれほど多くでできません。しかし、表現の幅を広げるために是非とも使えるレベルで習得したいです。

文法ポイント

人+who+動詞

who は学校では**主格の関係代名詞**として習いますが、実際には目的格でも使われます。しかし、目的格は省略されることが多いので **who** が出てきたら主格のことが多いです。学校で習った **whom** という形は極めてフォーマルな文書でしかできません。

～同じ文法を含む例文～

Any staff who volunteers to work on Saturday is welcome.

「土曜日に率先して働きたい社員は誰でも歓迎です」

We need to find a person who can speak Spanish fluently.

「スペイン語が流ちょうな人を見つける必要がある」

With this gadget, you can talk with anyone who speaks a different language.

「この機械を使えば、異なる言語を話す誰とでも会話ができます」

15

It is different from what we expected.

「それは私たちが期待していたことと違います」

この例文で使われてい **what** は疑問詞ではなく**関係代名詞**です。関係代名詞の **what** は会話で頻繁に使われるので是非マスターしてください。

文法ポイント

what+S'+V'

関係代名詞の **what** の特徴は既に先行詞を含んでいることです。よく言われるのが、**what=the thing which**~ということです。そのため、「~のこと」「~のもの」と訳すこととなります。

～同じ文法を含む例文～

We should know what our potential customers really need.

「私たちは見込み客が本当に必要としているものを知るべきだ」

Our boss doesn't care about what matters to us.

「私たちの上司は私たちにとって重要なことには関心がない」

Please remember what I told you when you are in trouble.

「困ったときは私が話したことを思い出してください」

著者紹介

阿部 毅

1972 年生まれ。英検 1 級。TOEIC985 点。

早稲田大学文学部卒、東京藝術大学大学院にて博士号取得。

予備校や学習塾での英語講師やギャラリーでの国際業務を経験し 2012 年に英語塾を設立。

2021 年の基礎力を重視したオンライン英会話 Eigo Chat Lab! を設立。

訳書（共訳）「レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯 飛翔する精神の軌跡」（白水社）、その他、大手企業の英語研修の教材作成などの仕事にも携わる。

オンライン英会話 Eigo Chat Lab! ホームページ <https://www.eigochat.jp>